

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和2年9月8日
作成担当部署 那賀町役場総務課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社きとうむら
代表者名 日野 雄策
所在地 徳島県那賀郡那賀町木頭出原字ヨコマチ23-2
設立年月日 平成8年4月1日
資本金 55,850 千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合) 4,000 千円 (7.2 %)】
業務内容 農産物加工品の製造販売

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

○法人の経営状況や財政的なリスクの現状

当社は、平成8年4月に山村地域の活性化を目的に設立され、令和2年3月期で創業24期の決算を迎えました。
主な事業は、全国的にも高い品質で知られている木頭ゆずや、剣山系の山から湧き出る水、そして国産大豆のおからを利用した食品加工と卸・販売事業を行っています。
設立当初は、木頭村が50%（現那賀町）、徳島市内の企業が50%の共同出資による第三セクターとして発足し、ふるさと創生資金より工場社屋の建設費等約2億8千万を借り受け工場を設置して事業運営を行っておりましたが、共同経営の企業が倒産したのをきっかけに経営が難航し、新たな役員を招いて事業再生を行いました。その後、平成14年に株のほとんどを地域住民に譲渡し、村民と行政が株を持ち合う「地域民セクター」となりました。
近年においても厳しい事業運営ではありますが、ここ数年は当期利益も黒字を保ってきました。
ただ、令和元年度においては、消費税の増税、新型コロナウイルス問題、商品原料（柚子）の裏年による不作、機械の老朽化対策等が関係し880万円の赤字を計上いたしました。

○地方公共団体としての財政支援、監査、評価の実施状況

現在、企業努力により経営改善の方策を検討している。
元来、町の出資比率は7.2%であり経営等への助言及び関与は行っておらず、また町からの貸付金の償還も誠実に行われている。
これまで同企業は、独自の企業理念の元、雇用等の面において地域経済の活性化に深く関与しており、地域にとって重要な存在であることに変わりないと認識している。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

現在も地元より20名の雇用があり、地域経済の発展に寄与している。
木頭ゆず等を活用し、地域産業の発展に寄与してきた
貸付金の返済は続けているが、額が大きく、完済までの期日が現実的でない。
債務調整を実施した上で、第三セクター等で引き続き積極的な経営改善を実施。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

○法人自らによる経営健全化のための具体的な対策

既存取引先への売上増加対策
新規取引先及び有機JAS製品の顧客開拓
通信販売の強化
県内営業の強化
輸出部門営業の強化

○地方公共団体による財政的なリスクの対処のための具体的な対応

債務調整及び貸付金の確実な償還管理

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		29年度	30年度	元年度
	資産総額	310,698	304,815	295,887
	(うち現預金)	13,686	5,804	5,062
	(うち売上債権)	14,589	16,554	19,054
	(うち棚卸資産)	68,377	68,071	54,793
	負債総額	354,782	348,783	348,674
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	274,500	274,000	273,500
	純資産額	-44,084	-43,968	-52,787

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		29年度	30年度	元年度
	経常収益	117,181	110,920	102,512
	経常費用	116,498	110,623	112,351
	経常損益	683	297	-9,839
	経常外損益	-180	-180	1,020
	当期純損益	503	117	-8,819